

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	運営母体である社会福祉法人 光寿福祉会の理念を掲げているが地域密着型 グループホーム千手荘としての理念がない。	地域密着型認知症共同生活介護としての役割を含め、地域・ご入居者・ご家族・ケアに携わるケアスタッフにもわかりやすい理念を掲げる	①グループホーム管理者2名で話し合い方針作成 ②法人と再度検討し理念を確立する	3ヶ月
			理念が周知でき、現場実践の場においてスタッフの行動変容につなげることができる	①毎月のスタッフ会議においてスタッフ間で理念の確認を実施する ②法人運営会議の場においてグループホーム理念の報告を行う ③法人運営会議での実践報告において理念に基づいたケアの実践内容について報告を行う	12ヶ月
2	4	コロナ禍において運営推進会議が開催できておらず、また、地域への情報発信が滞っている	運営推進会議延期中であっても、事業報告や定期報告など様々な形で地域への情報発信を行う	新型コロナウイルス等感染症発生時には、文書等にてグループホームの取り組みや利用状況などを報告を行う(2か月に1回程度)	2ヶ月
			運営推進会議を開催し「顔の見える関係」と「連携」が継続できるよう体制を整える	感染症対策が不要な場合においては適切に運営推進会議を開催し、グループホームと自治会等やその他社会資源等と双方向のコミュニケーションを図る	6ヶ月
3	35	火災以外の災害を想定した訓練を実施できていない	地域自治会とともに地震・水害等を想定した避難体制を検討し年1回は自治会避難訓練に参加する	①自治会に理解と協力をお願いする ②自治会の防災訓練への参加に依頼を行う ③グループホームでの火災を想定した避難訓練に自治会にも参加協力依頼を行う	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。